

# 検討の観点と内容の特色

項目	観点	内容の特色
内容の選択・程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 学習指導要領の教科の目標を達成するため必要な教材が適切に用意されているか。</li> <li>* 基礎的・基本的事項の理解や習得のため適切な配慮がなされているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1 Lesson が (Ⅰ)(Ⅲ)6 ページ, (Ⅱ)4 ページで構成されており, 生徒にとって身近な題材を用いて, 2技能3領域を適切に学習できるように配慮されている。</li> <li>○ 各Lessonは, Make Your Ownを最終目標とし, その支援として Warm-up, Give It a Try, Model, (Ⅰ)ではExpand Your English, (Ⅲ)では Materials for Thinkingを配置することにより, 無理なく言語活動を自分ごと化できるよう配慮されている。</li> </ul>
組織・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 内容の組織・配列は, 学習指導を有効に進められるように考慮されているか。</li> <li>* 分量は学習指導を有効に進められるように考慮され, 精選されているか。</li> <li>* 弾力的な取り扱いに対する配慮がなされているか。</li> <li>* 中高の接続に対する配慮がなされているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ (Ⅰ)(Ⅱ)は全20 Lessonで各Lessonにつき3時間の配当, (Ⅲ)は全10 Lessonで各Lessonにつき4時間の配当で編集され, 1学年2単位で適切に指導できるよう配慮されている。</li> <li>○ (Ⅰ)(Ⅱ)は全20 Lessonを2つのUnitに分けることにより, さまざまな現場に対応した学習指導計画が柔軟に立てられるよう配慮されている。</li> <li>○ (Ⅰ)「英語で表現するには」で中学既習文法事項をまとめなおし, Unit 1 Lesson 1-5の活動は中学校での既習文法事項で構成するなど, 中学校を終えた生徒たちが無理なく言語活動を行えるよう配慮されている。</li> <li>○ (Ⅲ)「英語でよりよく表現するには」では(Ⅰ)(Ⅱ)で学んできたことを見つめなおし, 効果的な表現活動を行えるように配慮されている。</li> </ul>
表記・表現及び指導に対する工夫や配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 学習意欲を高めるための配慮がなされているか。</li> <li>* 生徒の自学自習への配慮や工夫がなされているか。</li> <li>* 指導書や周辺教材での工夫や配慮がなされているか。</li> <li>* 用語・記号の取り上げ方や記述の仕方は適切か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Give It a Tryにチャレンジすることにより, 自らの課題などに気づかせ, それ以降の学習目的を意識させやすいよう配慮されている。</li> <li>○ ((Ⅰ)のみ)「〈付録〉ちがいがわかる伝わる英文法」では文法事項のイメージやニュアンスがやさしく解説されており, 生徒が自学自習できるように配慮されている。</li> <li>○ 教科書を支援する指導書や周辺教材などが充実しており, 指導しやすい教科書である。</li> <li>○ 用語・記号は統一されており, 記述の仕方も適切である。</li> </ul>
印刷・造本上の配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 印刷の鮮明さ, 活字の大きさ, 行間, 製本などは適切か。</li> <li>* 環境保全や生徒の多様な特性に配慮がなされているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活字は鮮明で美しく, イラスト, 写真なども鮮明で効果的である。</li> <li>○ 製本は堅牢で, 開きやすい様式である。</li> <li>○ 本文の用紙には再生紙と植物油インキを使用し, 「グリーンプリンティング認定工場」で印刷するなど, 地球環境や資源に及ぼす影響も考慮されている。</li> <li>○ カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮されている。</li> </ul>
総合所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 上記観点から見た, 全体的・総合的な当教科書の特徴。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指導時間数を考慮し, 生徒の実態と現状に合わせて無理なく授業を進められ, 英語で表現することを学ぶことができる教科書である。</li> </ul>